## allcinema

## 曽我兄弟 富士の夜襲(1956)

メディア 映画 ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color 時間 110分

初公開日 1956/10/17

## 【解説】

日本三大仇討ちの一つとして知られる「曽我兄弟の仇討ち」を、イーストマン東映カラーとオールス ターキャストで描く。複数の脚本家によるペンネーム五都宮章人の原案をもとに「ふり袖太平記」の八 尋不二が脚本を書き「忠治祭り 剣難街道」の佐々木康がメガホンをとった。

鎌倉将軍、源頼朝の時代。河津三郎祐泰は狩りの帰り、かねてから恨みを抱かれていた工藤祐経によ り殺害されてしまう。祐経の計略により、遺された妻と二人の子供は世間から冷たい目で見られ、さら に二人の子供は頼朝から処刑を命じられた。だが重臣の畠山重忠の嘆願により、二人の処刑は何とか見 送られる。やがて子供たちは十郎、五郎と名を改め、父の仇を討つため剣の腕を磨いていた。十二年ぶ りに再会した兄弟は、義理の父から小袖と佩刀を受け取り、祐経が現れるという狩り場に向かうのだっ た。

## 【クレジット】

監督 佐々木康

製作 大川博

企画 マキノ光雄

大森康正

小川貴也

植木照男

原案 五都宮章人

脚本 八尋不二

撮影 三木滋人

美術 鈴木孝俊

音楽 万城目正

出演 中村錦之助

大川橋蔵

東千代之介

高千穂ひづる

花柳小菊

大友柳太朗

片岡千恵蔵

月形龍之介

三笠博子